
特定非営利活動法人 わおん 令和4年(2022年)度 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

こどもたちがもっと元気に輝く地域に！

NPO法人 わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@npowaon.com

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索



2022年度事業の成果・総括

- ・わおん♪キャンプの本数を増やし、希望する人が参加できるようにした。スタッフ集めに苦労したが、希望する子どもたちに体験の機会を提供できた。
- ・げんすけの森柏茂交流会館は、元気づくり支援金の補助を受け、建物の修繕や手直しなどをおこない整備をすすめることができた。
- ・新規事業も少し増やしつつ、事業を継続しておこなうことができた。事業数が増えたことで、事務作業に影響が出ている。事業の運営スタッフを充実させていくことで継続性がでてくると考えられる。

♪事業の実施に関する事項

— 特定非営利活動に係る事業 —

1：環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業/2010年度より継続事業)

日程：

4月9日	第1回	入隊式 参加者51人 スタッフ8人
5月7日-8日	第2回	春のキャンプ① 参加者21人 スタッフ9人
5月14日-15日	第2回	春のキャンプ② 参加者22人 スタッフ9人
6月11日	第3回	外あそびの達人になろう 参加者36人 スタッフ8人
7月9日	第4回	外あそびの達人になろう② 参加者33人 スタッフ11人
8月5日-6日	第5回	夏のキャンプ① 参加者19人 スタッフ12人
8月6日-7日	第5回	夏のキャンプ② 参加者20人 スタッフ9人
9月10日	第6回	ひみつ基地であそぼう 参加者27人 スタッフ5人
11月5日-6日	第7回	秋のキャンプ① 参加者10人 スタッフ9人
11月12日-13日	第7回	秋のキャンプ② 参加者21人 スタッフ9人
12月17日	第8回	里山のクリスマス会 参加者35人 スタッフ7人
1月21日	第9回	冬の森であそぼう 参加者27人 スタッフ5人

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター
参加者：小学校3年生～中学校3年生 延べ322人（↓1人）※前年比
スタッフ数：延べ101人（↓10人）
事業収益：2,343,000円（↑636,000円）

（子どもゆめ基金950,000円、参加費収入1,393,000円）

成果：

2010年度から活動をはじめ、13年目となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下、新型コロナ）があり、人数を分散するため宿泊事業は2回に分けて実施した。ファシリテーターやディレクターをいろいろな人に担当してもらうことができた。

課題：

新型コロナにより活動の回数を増やしたため、経費や労力の負担は増えた。いろいろな人にファシリテーターやディレクターを担当してもらえたことで乗り越えられた。

1-2 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業

（信州環境カレッジ2019年度～/2015年度より本格実施事業）

◆通常森カフェ

4月～3月 26回（↓5回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ 216人（↓51人）

※みらいベースでのクラウドファンディング「信州の特色ある学び」寄付募集を実施した

団体への単独寄付 163,000円、全体・分野寄付からの按分15,498円が集まった

◆森カフェイベント：

4月16日（土）ウェルネスウォーク 参加者6名

7月30日（土）木工クラフト体験 参加者9名

10月8日（土）森林ヨガ体験 参加者5名

10月22日（土）森でハロウィーンパーティー 参加者9名

11月5日（土）ウェルネスウォーク 参加者3名

12月18日（日）庭木のお手入れ勉強会 参加者11名

1月15日（日）ハイジの森間伐体験会 参加者5名

実施回数：7回（→） 参加者合計 48人（↓37人）

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ

参加費：93,300円（↓3,250円）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆森カフェイベント

参加費：97,500円（↓35,500円）

助成金：信州環境カレッジ 70,000円

成果：

森カフェ本格開催から8年目となった。通常の森カフェは、森カフェコーディネーターの方と手分けし開催できた。土日は、他の事業と重なっても森カフェが開催できる体制となっている。サポートしてくれる人材も見つかり、一時的にはなるがお手伝いしてもらえらる状況になっている。

新型コロナウイルスの対策として、事前予約を継続しておこなっている。参加者がいないときは待機しなくてもよくなり、コーディネーターの負担を減らすことができている。事前予約は今後も継続していきたい。

森カフェイベントは、希望者からの提案によって企画・実施を行っている。他の事業と重なっても実施できる体制ができてきている。

課題：

平日の参加者が減ってきている。平日の参加者開拓は、年度が変わるたびに必要になる。里カフェでPRしたり、子育て支援センターにチラシを置いてもらったりして、声掛けをしていく必要がある。

森カフェイベントは参加者は定員まで達しなかったが、実施することができた。信州環境カレッジを活用して実施したが、補助金がないと経費的にちょっとくるしい運営となっている。

1-3 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

◆わおん♪キャンプの実施/主催事業

(2017年度より継続事業)

4月23日-24日	わおん♪ひみつ基地探検隊	たき火編	
	参加者	13人	スタッフ8人
5月28日-29日	わおん♪ひみつ基地探検隊	たき火編	
	参加者	19人	スタッフ8人
6月4日-5日	わおん♪アナログゲームキャンプ		
	参加者	10人	保護者1人 スタッフ6人
6月18日-19日	わおん♪ツリーハウスキャンプ		
	参加者	17人	保護者1人 スタッフ7人
7月16日-17日	わおん♪ひみつ基地探検隊	川編	
	参加者	17人	保護者1人 スタッフ6人
7月23日-24日	わおん♪ツリーハウスキャンプ		
	参加者	18人	保護者1人 スタッフ6人
7月25日-26日	わおん♪ツリーハウスキャンプ		
	参加者	13人	スタッフ9人
7月30日-31日	わおん♪ひみつ基地探検隊	川編	
	参加者	13人	保護者1人 スタッフ8人
8月20日-21日	わおん♪ひみつ基地探検隊	森編	
	参加者	14人	保護者1人 スタッフ8人

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



- 8月27日-28日 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 18人 保護者3人 スタッフ8人
- 9月17日-18日 わおん♪ひみつ基地探検隊 森編
参加者 15人 スタッフ8人
- 9月24日-25日 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 20人 スタッフ6人
- 10月15日-16日 わおん♪アウトドアクッキングキャンプ
参加者 18人 保護者1人 スタッフ6人
- 3月18日-19日 わおん♪アウトドアクッキングキャンプ
参加者 11人 スタッフ6人

会場：げんすけの森柏茂交流会館

実施回数：15回（↑4回）

事業収益：参加費 3,674,400円（↑1,360,900円）

参加者 216名（↑82人）、保護者10人（↑1人）

スタッフ数：延べ100名（↑28人）

成果：継続して、松本市・塩尻市・岡谷市と各教育委員会の後援をとった。新規で、辰野町の後援もとり、各市町村の学校にチラシを配布し事業の告知を行った。前年の申し込みがかなり多く、180名ほどお断りすることとなってしまったため、キャンプの本数を増やした。そのため、今年度は、希望者が特定のキャンプだけを選ばなければ、参加してもらおうことができるようになった。

当日のディレクター（全体統括）と事前事務を担当してくれる人が見つかった。今年度は、月に1回程度担当してくれる。どのような体制がとれるのか確認しつつ、実施していく。

課題：キャンプの本数を増やしたことで、スタッフ集めに苦戦した。関わっていただいているサポーターや事務局にも疲れがみえ、体制や実施回数の調整が必要になる。

1-4 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会

（2011年度より継続事業）

内容：

5月22日 体験学習フェスティバル →コロナのため中止

6月12日、9月11日、10月30日、11月27日 こども未来塾リーダー研修の運営

2020年4月～2021年3月 塩嶺体験学習の家のブログの更新

事業費：1,217,210円（委託）

会場：塩嶺体験学習の家

成果：2011年度より継続して事業が実施できている。昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの影響で中止事業があり、その分の委託金が減額になった。しかし、最低限の減額で対応してもらうことができた。

課題：業務の見直しが入り、体験学習フェスティバルなどのコーディネート事業の廃止が決まった。今後は、こども未来塾リーダー研修の運営のみの委託事業となる。委託金額は大幅に減少する見込み。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



1-5 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター

(2016年度より継続事業)

内容：

12月10日-11日 第7回こどもしおじりの開催
2022年3月～12月 こども役員会議・実行委員会等を開催
参加者 小学3年生から中学生 102人
実際の参加者数：10日 100名、11日 99名
専門家 10日：52人、11日：51人
当日スタッフ 10日：31名、11日29名
コアスタッフ 12名
お仕事 31ブース、アカデミー 11ブース

事業費：1,416,800円（委託）

成果：

例年は定員150名だが、新型コロナウイルスの対策として今年度も100名として開催した。申し込みが151名あり、31名は参加をお断りすることとなった。過去にこどもしおじりに参加したことがある高校生が11人スタッフとして参加してくれた。今後もこのようなつながりをつくっていききたい。

課題：

コアスタッフでの打ち合わせがぎりぎりになってしまった。もう少し早く打ち合わせをし、いろいろなアイデアを出しあえる環境をつくりたい。また、マンネリ化しないように工夫しながらすすめていきたい。

1-6 里カフェぽっかぽか/主催事業

(元気づくり支援金2021年度～/2021年度より継続事業)

◆里カフェぽっかぽか

4月～3月 延べ19回（↑9回）
参加者 延べ112組 233人（↑50組105人）

◆日程：

4月15日	参加者	2組4人
4月19日	→参加者なしのため中止	
5月18日	参加者	8組17人
5月27日	参加者	4組8人
6月15日	参加者	6組13人
6月30日	参加者	3組6人
7月13日	参加者	4組8人
7月28日	参加者	10組20人
8月10日	参加者	8組15人
8月24日	参加者	1組2人
9月7日	参加者	6組12人
9月29日	参加者	7組14人
10月14日	参加者	7組14人

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



11月1日	参加者	5組10人
11月16日	参加者	6組12人
12月1日	参加者	6組12人
12月14日	参加者	5組10人
1月23日	参加者	6組15人
2月21日	参加者	8組19人
3月9日	参加者	10組22人

事業費：参加費：84,400円（↑43,100円）

助成金：元気づくり支援金

成果：

4月から3月まで、月2回のペースで通年実施した。リピーターの参加者もいて、延べ112組233人の参加となった。庭で焚き火をしたり、近くの森に散歩に行ったり、水遊びや雪遊びなど、自然に触れる機会をもちながらのんびり過ごせ、良い雰囲気でも過ごしていただけている。

課題：

継続して参加していた参加者は、年度が変わって保育園に通う子どもも多く、平日の新しい参加者開拓が必要になる。また、担当できるスタッフが減るので、事務局で対応しながら、スタッフの負担を軽減しながら活動が継続できるような体制づくりをしたい。

1-7 わおん♪自然ぶち探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業／2022年度より実施)

5歳～小学校2年生までを対象に、ハイジの森で自然体験活動を実施する。

6月12日 ハイジの森を探検しよう

参加者 こども20人保護者10人 スタッフ4人

7月10日 いきものをさがそう

参加者 こども19人保護者6人 スタッフ6人

9月11日 森でアートしよう

参加者 こども19人保護者5人 スタッフ4人

11月20日 森のおたからをさがそう

参加者 こども13人保護者1人 スタッフ7人

会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：5歳～小学校2年生 延べ71人、保護者 延べ22人

スタッフ数：延べ21人

事業収益：381,090円

(子どもゆめ基金247,000円、参加費収入134,090円)

成果：

わおん♪自然探検隊には参加できない5歳から小学校2年生が参加できる企画を実現することができた。定員を大幅に超える申し込みがあった。今後、探検隊への参加につなげることができる。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



課題：

参加者が多く、ハイジの森では駐車場がいっぱいになってしまうので、柏茂交流会館に会場を変更して実施した。半日程度の活動で、スタッフ確保に苦労した。参加する保護者が徐々に減っていったので、スタッフが多く必要となる。近場のスタッフを事前に確保したい。

1-8 出前イベント／受託

日程：

5月2日 宗賀児童館 ハイジの森 →中止
5月31日 洗馬子育てサロン ハイジの森→柏茂交流会館へ変更
6月19日、ジュニアリーダー養成講座
6月21日、22日 波田小学校 内容：工作
7月2日-3日 ジュニアリーダー養成講座 →7月2日のみに変更
7月28日 松本市エコスクール
8月25日 開明小学校 内容：外あそびの達人講座
9月7日 並柳小学校 内容：自然体感プログラム（川の生き物）→雨天で中止
10月4日 高出子育てサロン@ハイジの森 →中止
11月4日 山辺学童クラブ？ 内容：自然体感プログラム
11月30日 二子小学校 特別支援学級 内容：自然体感プログラム
3月1日 社会福祉協議会 子育てサロン紹介講座
8月2日、10月17日、3月23日 宗賀児童館
内容：自然体感プログラム →中止
4月27日、5月11日、25日、6月8日、22日、7月6日、20日
8月1日、17日、31日、9月14日、28日、10月12日、26日、11月9日、30日、
12月21日、1月25日、2月8日、15日、3月1日、15日、22日（23回 ↑4回）
1月11日→中止
沢村児童センター 内容：昔あそび、運動遊び、外あそびの達人講座

事業収益：受託金額 434,832円（↑44,850円）

成果：

沢村児童センター（旧蟻ヶ崎児童館）からは、継続して年間を通じて依頼をいただいている。

宗賀児童館についても年間を通じて数回依頼をいただいていたが、新型コロナなどの理由で今年度もすべて中止となった。また、ジュニアリーダー養成講座についても、継続して依頼をいただいていたが、日帰り2回の活動となった。

松本市内の学校からの依頼も、数件あった。

課題：

平日の出前イベントに対応できるスタッフが不足している。平日に活動できるスタッフの確保が必要。塩尻市の児童館の出前イベントの依頼が減っている。また、その他からの出前イベントの受託をさらに増やせるよう、積極的に営業活動をし増やしていく必要がある。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2：体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り/主催事業

(市民交流センターを活用した交流企画事業/2010年度より継続事業)

実施せず

成果：

昨年新型コロナで中止とし、今後は柏茂交流会館で同様のイベントを実施することとしていたが、新型コロナで計画できなかった。

課題：

柏茂交流会館でどのように開催するか、検討する必要がある。

2-2 各種交流会（げんすけBar、lunch、お茶会）

8月28日 キャンプ終了後にサポーターズを中心にピザ会を実施

3月11日 こどもの体験活動に関わる大人のための交流会を実施（元気づくり支援金）

参加者 第1部 12名（+ゲスト2名）、第2部 8名（+ゲスト1名）

成果：

体験活動のサポーター不足を解消するためにも、わおんの活動に関心のある人が集まる機会を作ることが大事と考え、交流会を実施することができた。また、柏茂交流会館の活用方法としても有効であることがわかった。

課題：

準備不足もあり、参加者数が多くなかったので、しっかりと企画をして、多くの人に参加してもらえるようにしていく。

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日/コラボ企画・ブース出展

日程：

さくらフェスタ、体験学習フェスティバル、森のフェスティバル、ひらいで遺跡まつり、木育フェスティバル、 →中止

11月19日 しおじりまちづくりフェスティバル 収益：5,500円

ブースでの実施内容

クラフト（小鳥のキーホルダー、森のオブジェ、森の写真立て 500円）

射的（100円）

たき火関係（たき火ミニ講座、スモア100円）

科学工作

げんすけの出演

クラフトグッズ、げんすけグッズの販売

事業収益（合計）：5,500円（↓3,500円）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



内容：受託 0件（→）、自主的に参加 1件（→）

成果：継続して参加しているイベントに参加する予定だったが、ほとんどのイベントが新型コロナで中止となった。

課題：げんすけの出演依頼がゼロだった。

2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ/コラボ企画）

日程：

9月3日中止

10月9日、3月4日 国営アルプスあづみの公園

成果：

継続して、国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを2回実施した。今後も年間3回程度、出張森カフェを実施したいとのこと。

課題：

出張森カフェの依頼をもっと増やしていけるよう、PRを実施していく。

2-5 里山子育て・子育てセミナー・フォーラムの開催/主催事業

開催なし

2-6 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

6月23日 オンラインサロン 参加

9月7日 オンラインサロン 担当：山田勇

9月26日 本部会議@オンライン

1月31日～2月2日 NEALインストラクター養成会 講師 担当：山田勇

2月15日 本部会議@オンライン

2月28日 本部会議@オンライン

3月2日 外あそびネットワークの総会に参加

3月15日 本部会議@オンライン

※信州外あそびネットワークの副代表を担当

※信州外あそびネットワーク事務局として会計を担当

※信州外あそびネットワークの住所をわおん内に置いている

◆木育フェスティバル実行委員会

森のフェスティバル、木育フェスティバル 中止

※実行委員会は開催なし

◆地域づくりネットワーク

やまびこネットワークに加入

地域活性化センター賛助会員

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆松本地域子ども応援プラットフォーム

- 4月7日 顔合わせ
 - 4月13日 運営委員会
 - 4月17日 ランチミーティング
 - 5月27日 総会
 - 7月19日 オンライン交流会
 - 8月31日 オンライン交流会
 - 9月13日 子どもに関わる大人のための講座①
 - 10月3日 運営委員会
 - 10月12日 子どもに関わる大人のための講座②
 - 10月27日 子どもに関わる大人のための講座③
 - 12月13日 三役会
 - 12月16日 運営委員会
 - 12月23日 オンライン交流会
 - 1月23日 オンライン交流会
 - 1月27日 第4回運営委員会
 - 2月14日 オンライン交流会 事前打ち合わせ
 - 2月27日 オンライン交流会
 - 3月14日 第5回運営委員会
- ※松本地域子ども応援プラットフォーム 副代表を担当

塩尻地域の活動

- 2月27日 「子どもの居場所のための助成金勉強会」

◆中信地区環境教育ネットワーク (eenet)

- 6月20日 塩尻市生活環境課訪問
 - 6月30日 総会
 - 1月19日 事務局会議
 - 2月7日 報告会の打ち合わせ
 - 2月15日 報告会
- ※HP更新担当

◆NPO法人自然体験活動推進協議会 (CONE)

会員登録

CONE保険加入者ミーティングは欠席

◆信州こども自主活動応援基金 (げんすけファンド)

- 5月9日 打ち合わせ
 - 5月22日 げんすけファンド審査会
 - 1月29日 こども若者ワークショップ
 - 2月7日 打ち合わせ
 - 3月21日 げんすけファンド報告会
- げんすけファンド応募への個別相談対応



2-7 体験拠点の管理 (2020年7月～所有)

(2021年度～ 元気づくり支援金)

◆げんすけの森柏茂交流会館

修繕関係

8月～10月 照明器具の更新

9月～10月 縁側、廊下、洋室、浴室脱衣所の床板のはりかえ

10月26日 床下調湿材の設置10月26日 プロによる建物の安全確認

12月～1月 浸透桧、排水桧の設置

宿泊旅行統計調査に協力 (2022年1月から2年間)

げんすけの森 柏茂交流会館のホームページの維持

<https://sites.google.com/npowaon.com/hakumo>

予約カレンダーの更新

げんすけの森 柏茂交流会館のパンフレットの配布

成果：

元気づくり支援金が採択され、照明器具の更新や床板のはりかえ、浸透桧の設置などを実行することができた。

課題：

専門家に確認してもらったところ、屋根瓦の修繕が必要だと指摘を受けた。来年度、元気づくり支援金が採択されれば、修繕を実施したい。採択されない場合は、他の資金を獲得し、できるだけ早く修繕できるようにしたい。

2-8 体験拠点の貸出業務 (2020年7月～所有)

◆施設貸出

5月20日～21日 個人利用

6月15日 日帰り利用5名

7月12日 洗馬子育てサロン

7月12日～15日 企業 宿泊利用3名

12月16日 日帰り利用5名

1月19日 日帰り利用2名

2月17日 日帰り利用4名

3月11日 個人宿泊利用2名

◆備品貸出

施設利用時に備品の貸し出し 実績1回

わおんの主催事業の際に寝袋レンタルをおこなった

事業収益：102,990円 (施設貸出) (↓76,640円) 利用件数：8件 (↑6件)

75,900 (備品貸出) (↑24,300円)

成果：

施設利用が8件あった。前年より6件増えた。個人的な利用、日帰り利用が多かった。

わおんの主催事業の際に寝袋レンタルを実施できた。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



課題：

平日の貸し出しを増やしていきたい。利用形態がいろいろあり料金の見直しをすると、利用しやすくなると思われる。

3：体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業（2015年度より実施）

未実施

3-2 サポーター向け勉強会

未実施

3-3 体験活動に関心のある人を対象にした勉強会

10月1日 こどものチカラを信じたまちづくりの成果とこれから
参加者6名

4：地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

2022年4月～2023年3月 登録512人（↑115人）

月1回発行、お知らせがあるときは臨時号を発行

4-2 活動の動画配信

未実施

4-3 げんすけがゆくが発行

未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



5：地域の物産開発ならびに販売事業

5-1げんすけグッズ/FR

げんすけのポロシャツやTシャツの追加注文をした
希望者にサイズ、カラーのオーダーを受けてから発注

収益：ポロシャツ 10,720円

◆塩尻市内の店舗での販売

モナミ美容室、温（ぬっく）、木曽地場産センター

収益：地場産センター7,855円（↓1,160円）

◆イベントでの販売

11月19日 しおじりまちづくりフェスティバル 収益：5,300円

事業収益：22,750（↓11,765円）

5-2こどもたちの元気の源「ブランド」づくり/FR

未実施

6：地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント（ワークショップ）

依頼がなかったため、未実施

6-2 こども企画会議

未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



— NPO法人の運営 —

1：理事、事務局の対外的な活動

- ・講師

7月31日 林業センター 虫の観察講師（理事長 山田勇）

- ・委員会・会議出席

塩尻市社会教育委員（理事長 山田勇）

EPO中部協働コーディネーター（理事長 山田勇）

塩尻市社会福祉協議会評議員（理事 荻場美穂子）

- ・その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

一般社団法人 日本NPO環境ネットワーク 事務局



2：法人内での活動

・会議

◆総会 4月25日 通常総会 @柏茂交流会館

◆理事会 4月4日 理事会 @柏茂交流会館

・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売

森カフェ継続開催のため、クラウドファンディングを実施した

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

・会員募集

森カフェをきっかけに会員が増えた

イベント受付の際などPRしたり、積極的に誘いするようにした

・管理（顧客・備品）

会員管理をセールスフォースで実施中。

イベント参加者、サポーター情報を管理できるように整備中。

・会計、税務

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

PAYPAYの決済を導入した（2019年8月～）

・労務事務（法人事務）

社会保険への加入（2015年12月～）

・その他事務

書類データ：Googleドライブ 写真データ：box

遠隔会議：google meet／zoom、日々の情報共有：google chat →実施

顧客情報等；セールスフォース、タスク管理：Evernote →実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

